

がっこう
学校だより

くすのき

10月号



れいわ ねん がつ にち
令和5年 9月29日

よこはましりつほんもくみなみしょうがっこう
横浜市立本牧南小学校



ホームページはこちらから!随時更新中→

ラグビーの精神

こう ちよう なかわら ひろし
校長 中村 宏

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものだと思います。今年の猛暑、いつまで続くものかと案じられましたが、今週になってぐっと秋めいてきました。風はようやく秋の風、校庭の測定器も30℃を切る時間帯が多くなり、朝晩はコオロギの鳴き声が聞こえるようになりました。前期の締めくくりの9月を終え、10月からは後期がスタートします。気持ちを新たに前期から後期へと言いたいところですが、後期がスタートしてすぐ、「しおかぜ運動会」が行われます。前期から後期へと一区切りをつけるとともに、運動会に向けて積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮してほしいと思います。



さて、9月の全校朝会で子どもたちには話をさせてもらいましたが、私はずっとラグビーをしていました。今でも試合(OB戦)に出場することがあります。コロナ前であった2019年、日本で開催されたワールドカップの時には、日本中が「ワンチーム」で盛り上がっていました。私も日本で勝利をした次の日には、ラグーシャツを着て勤務していました。あれから4年後の今年、フランスでラグビーワールドカップが開催されており、日本チームだけでなく各国のプレーに興奮冷めやらぬ日々を送っています。全校朝会で話をしたのは、そんなラグビーの精神に関する内容です。

一般的なスポーツでは、試合終了の際、ゲームセットやタイムアップと表現されることが多いです。ラグビーでは、試合終了を『ノーサイド』と言います。この『ノーサイド』には、戦い終えたら両軍のサイドはなくなり、戦った相手をも尊重し、認め合い、一つの同じ仲間になるという思いが込められています。

今、本牧南小学校では、来月に迫った「しおかぜ運動会」に向けて、熱心に練習をする子ども達の姿が見られます。リレー・応援団・団体競技等々、練習の様子から「負けないぞ」「勝ちたい」という思いが伝わってきます。運動会ですから赤組と白組に分かれて競い合い、勝敗をつけます。しかし、運動会が終わった後は『ノーサイド』の気持ちをもって、赤組も白組も関係なく全校が一つの仲間として、今よりもっと絆が強くなり、一致団結した本牧南小学校になることを期待しています。

ラグビーには、他にも『One for All All for One(一人はみんなのために みんなは一人のために)』という自己犠牲の精神や、『ルールを守り、正々堂々バベストを尽くそう』というフェアプレーの精神があります。どの精神も運動会を通して、大切にしてほしいと願っています。本牧南小学校にとって「しおかぜ運動会」は、節目となる大きな行事です。保護者や地域の皆さまには、ワールドカップが開催された2019年以来4年ぶりに入場制限なしで、子どもたちの元気な姿をお見せすることができます。教職員一同、たくさんの方のご来校を心よりお待ちしております。

**今年度の運動会は、コロナによる制限なしの運動会になります。
地域の皆様も、ぜひご来校ください。**

開場は8時45分です。IDカードのない方は、受付でお手続き下さい。なお、自動車・自転車での来校はご遠慮いただきますようお願いいたします。

